

トゲソの会活動ニュース4号

10月～1月

2015年 1月

NPO法人
五泉トゲソの会



■ トゲソの会高橋理事長・新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。トゲソの会は今年で18年目となります。よくも続けられて来られたと感無量です。会員の皆様を初めとして今後ともご支援とご協力をお願いいたします。



1、労金新津支店さんでトゲソの活動を紹介(10月29日)



10/29 労金推進委員会議にて

◆ 10月末に新潟市秋葉区にある労働金庫新津支店さんで、NPO法人の規定やトゲソの活動について話をさせていただきました。

新潟県労働金庫さんは、NPO法人に対する支援が最も熱心な金融機関です。NPO基金支援では、ひとくち寄付として毎月100円(年間1,200円)から口座引き落としができる簡単なカンパ支援があります。

五泉トゲソの会は、昨年このカンパ資金から第1回の助成金をいただき、早出川清流スクールを実施することができました。また、今年度は労金さんが財源を拠

出する「ろうきん福祉財団」からNPO等助成事業で「春のトゲソの観察会」を実施することができました。

講演では、労金推進委員の皆様にもNPOとNGOの違い、何故NPO法人が生まれたのか、その社会背景などを説明させていただきました。そして、秋に取り組んでいるトゲソ支援「たもて箱」の話もさせていただきました。

その成果として、暮れには職員の皆様からトゲソ支援として「たもて箱」の商品お買い上げいただきました。これからは、様々な労働組合でNPO支援の「ひとくち寄付」が広がっていくように推進委員の皆様をお願い致します。

2、東京で五泉応援団の総会開催。トゲソの会も出席。(11月15日)

◆ 11月28日、東京九段のホテルで五泉応援団の総会が開かれました。

トゲソの会では昨年に引き続いて2名が出席しトゲソの活動や「たもて箱」商品の紹介を行いました。

総会は五泉からバスで参加した70名と、首都圏在住の方々を合わせて250名の出席がありました。

出席者はテーブルを囲んで故郷の懐かしい話や友人知人との出会いに話を咲かせていました。なお、トゲソの会のブースには総会の合間をぬって多くの方が訪れていただきました。ご支援ありがとうございます。



3、水辺愛護・保全団体の交流会に参加 (11月18日)



11/18 西川の上に新川の立体交差点

◆ 新潟県が主催する、水辺愛護と保全団体の交流会がハードオフエコスタジアムを会場に開催されました。

当日は「ビュー福島潟」の佐藤事務局長から、新潟における潟の水鳥・生き物の多様性の講演がありました。その後、新川や西川の活動団体の事例発表があり、現地をバスで見学しました。

新潟市西区では、新川と西川の日本でも珍しい立体交差を見学し、地域で活躍している様々な水辺団体との交流ができました。

4、おめでとう。川東小学校が新潟県環境賞を受賞 (11月22日)

◆ 11月22日に五泉市川東小学校さんが新潟県環境賞を受賞し、朱鷺メッセで副知事より表彰を受けました。おめでとうございます。

式典では、4年生を代表して2人の児童が表彰状をいただき、担任の先生や保護者の皆さんと共に喜んでおられました。

【これまでの活動実績】

①平成15年7月→総合的学習で地域保護者と協力し学校前庭の池をトゲソのビオトープに改造する。

②平成16年10月→川東小学校児童12名が「子供トゲウオ大使」として福井県大野市などを訪問した。また教育長の親書を渡し、福井市有終南小学校の児童と交流した。

③平成20年11月→五泉市主催の「湧水保全フォーラム全国大会」で秋篠宮殿下が臨席される中で湧水保全の取り組み「オペレッタ劇」を発表した。

④平成21年9月→保護者の協力を得て新校舎建設に伴い改築された学校池を再度「ビオトープ」に改造した。

⑤平成15年～平成26年→約13年有余にわたり、地域に生息するトゲソの学習を継続して学んできた。



11/22 中村事務局長と記念撮影



▲平成16年トゲウオ大使派遣



▲平成20年オペレッタ劇発表



▲2代目ビオトープを造る。

5、阿賀野川自然再生モニタリング会議に出席（12月1日）



▲焼山地区のワンド視察箇所

国土交通省の阿賀野川河川事務所では平成 24 年から検討してきた「阿賀野川自然再生計画」について、一部施行を進めています。

この度、施行箇所の再生について妥当に行われているかどうか、又課題についてどうしたら良いか、モニタリング会議が開かれました。

第1回会議は現地視察として沢海床止めの右岸「焼山地区ワンド」、五泉市「高山地区ワンド」再生事業について視察をしました。トゲソの会では中村事務局長が委員として出席しました。

6、南小学校がトゲソの学習発表会（12月16日）



昨年は、市内小学校で多くの児童がトゲソや水のことを学んでくれました。その学びの成果として各学校で発表会が開かれています。

12月には南小学校3年生が発表会を行いました。発表会では3年生が来年度トゲソの学習をする2年生に対し、「紙芝居」「双六」「クイズ」「カルタ」など、班ごとに工夫した内容でトゲソの学習成果を教えていました。

南小3年生は、今年度4回のトゲソ学習をしました。

◇6月3日ートゲソの事前学習

◇6月19日ートゲソの里を見学

◇9月19日ー南のいずみ「キレイキレイ」作戦

◇10月10日ー南のいずみトゲソノ生息数調査

この南小学校には、校庭にトゲソが生息するビオトープ「南のいずみ」があります。毎年3年生が清掃し生息数を調べています。約100匹程度のトゲソの生息が確認されています。

■川東小学校でトゲソの学習発表会(1月14日)

同じく川東小学校でもトゲソの発表会が開かれました。発表してくれたのは4年生2クラスです。

1月14日、教室で保護者が見守るなか、調べてくれたことを10班に分かれて元気よく発表してくれました。

クイズあり、劇あり、そして紙芝居など、それぞれ工夫した発表となりました。保護者の皆さんも難しいトゲソのクイズを考えてくれました。児童の皆さん一生懸命勉強してありがとうございました。



7、NHK新潟番組「きらっと新潟」に出演しました (1月23日)

1月11日(日)にNHK新潟放送局さんの取材を受けました。取材を受けたのは「きらっと新潟」という県内各市を訪ねるという番組です。テーマは五泉の水(みず)でした。

イラストレーターの木原四郎さんがトゲソのすむ土堀の「とばしっこしみず」(新潟県名水指定)を訪ねるという録画撮りでした。トゲソの会の高橋会長と地元の原田さんが出られました。放送は1月23日(金)の夜7時半から放映されました。

「とばしっこしみず」の地下水は13度くらいで気温に比べると温かく、旨い水でした。木原さんは「命の水、ありがたや」と色紙を書いてくださいました。



8、樋口理事が新潟のイトヨは新種と発表。(1月28日)



新潟平野の春の味覚として楽しまれてきたイトヨが、このたび新種であったことが判明しました。

これは当会理事である樋口正仁さんの論文が日本魚類学会の英文誌に掲載され、認定されたものです。

現在イトヨは北半球の大陸沿岸域に広く分布しています。ニホンイトヨは、体側にある鱗状の器官(鱗板りんばん)や尾びれの付け根の形態が異なり区別することができるそうです。

分布域が新潟県を含む日本海周辺域である新種のイトヨは、和名をニホンイトヨと言い、学名が「*Gasterosteus nipponicus*」となりました。

このニホンイトヨは、現在から200~300万年前の氷河期で日本周辺海域が太平洋とのつながりが少なくなった時代にイトヨから進化したと推測されています。

ニホンイトヨは、初春の味覚として、かつては信濃川などでたくさん漁獲されると共に、イトヨ釣りは春の風物詩でした。しかし、現在では個体数が減少し、“レッドデータブックにいがた”で絶滅危惧種に指定されています。

近年、新潟県内でニホンイトヨの生息情報がほとんどなく、樋口理事は生息情報を求めています。この素晴らしい成果は、1月28日の新潟日報記事として報道されました。

今後の行事予定

- ★2月11日 イオン黄色いレシートキャンペーン活動 新発田市
- ★3月29日 トゲソの水路 春の清掃・江浚い。

■ 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三

事務所 住所 959-1645 五泉市土堀 295 番地

電話 0250-47-4439・FAX 0250-47-4440 メール gosen@togeso.com

事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1 中村吉則方

電話・FAX 0250-22-0271 メール togeso@beige.plala.or.jp

■ ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>

◎「トゲソのたもて箱」のページ トゲソ村湧水の里市場 <http://www.togeso.com/>